

早期発見が大切

乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう

固健康推進課 ☎(235)7880

女性特有の乳がんや子宮頸がんは、20代〜40代の方が発症しやすい病気で、初期段階で発見・治療ができた場合とできなかった場合の5年相対生存率は大きく異なります。命を守るため、定期的に検診を受けましょう。

※5年相対生存率：がんを診断された人が、同じ性別・年齢の日本人全体で5年後に生存している人の割合を比較した数値です。数値が高いほど生存率が高いことを示します。



子宮頸がん

子宮頸がんにかかる人は20代後半から増加します。初期は無症状のため、異変に気付いた段階では進行している場合がほとんどです。検査は15分程度。子宮頸部の細胞をこすり取る方法で異常細胞の有無を調べます。20歳からの受診をお勧めします。



21歳の方は
子宮頸がん検診が無料

5年相対生存率
早期発見した場合
(ステージI)
93%以上
早期発見できなかった
場合(ステージIV)
30%以下

21歳(平成12年4月2日〜13年4月1日生まれ)の女性に無料クーポンを発送しています。有効期限は来年3月31日です。早めに受診しましょう。

乳がん

乳がんは日本人女性の9人に1人の割合でかかるといわれています。初期の段階は触診などで発見することが難しいため、市の検査は初期症状の微細な石灰化を発見することができ、マンモグラフィ（X線検査）を行います。40歳からの受診をお勧めします。



5年相対生存率
早期発見した場合
(ステージI)
99%以上
早期発見できなかった
場合(ステージIV)
40%以下

41歳の方は
乳がん検診が無料

41歳(昭和55年4月2日〜56年4月1日生まれ)の女性に無料クーポンを発送しています。有効期限は来年3月31日です。早めに受診しましょう。

10月は
ピンクリボン月間

ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進する世界規模のキャンペーンです。10月1日を「ピンクリボンデー」とし、各地でピンク色のライトアップや街頭などで啓発し、早期発見に向けた検診などを呼び掛けています。



市の乳がん・子宮頸がん検診は、「集団検診」と「個別検診」があり、事前の予約が必要です。検診対象は、乳がんは40歳以上、子宮頸がんは20歳以上の女性です。

集団検診

電話または直接健康推進課へ申し込んでください。市ホームページからも可能です。検診日などは下表のとおりです。

検診日	受付開始日	締め切り日
11月 5日(金)	受け付け中	10月19日(火)
11月17日(水)		10月29日(金)
12月11日(土)	11月4日(木)	11月24日(水)
12月22日(水)		12月 3日(金)
令和4年1月18日(火)		12月24日(金)
2月 4日(金)		令和4年1月18日(火)
2月25日(金)		2月 8日(火)
3月 9日(水)		2月18日(金)

集団検診当日の流れ



個別検診

指定医療機関へ直接申し込んでください。指定医療機関は一般的な健康だより、または市ホームページをご覧ください。